



●母子健康手帳の交付

保健師が、妊婦さんの体調などを聞きながら母子健康手帳の使い方や妊婦健康診査について説明を行います。交付場所は＜西合志庁舎＞健康づくり推進課です。また、健康育児相談時にも交付しています。8月7日(金)・9月4日(金)泉ヶ丘市民センター、8月11日(火)ふれあい館です。日程は健康づくり事業計画表に掲載していますのでご参照の上お越しください。印鑑と産婦人科から妊娠届出書をお願い、持参してください。

●熊本県小児救急電話相談事業

相談時間：毎日・夜間
午後7時から午前0時
☎ #8000
(ただし、ダイヤル回線・I P 電話・光電話からは☎364-9999)



問い合わせ先
健康づくり推進課 (西合志庁舎) ☎242-1183

新型インフルエンザ予防対策!

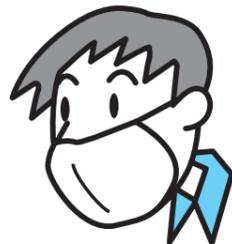
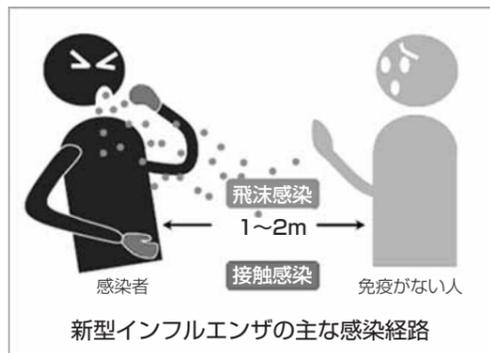
「せきエチケット」編

せきエチケットって何?

インフルエンザなどの呼吸器感染症は、せきやくしゃみに含まれる病原体を吸い込むことによって起こります。せきをしている時の「せきエチケット」は、他の人にうつさないために重要です。マスクを着用すると、せきをしている人も自分の息で加湿された空気を吸うことになるので、のどが保護される効果があります。

＜せきエチケットのポイント＞

- ①せき、くしゃみをする時は、ティッシュなどで口や鼻を押さえ、他の人から1m以上離れて顔をそらしましょう。(せきやくしゃみのしぶきは約2m飛びます。)
 - ②鼻水やたんなどがついたティッシュは、ビニール袋に入れたり、フタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
 - ③せきをしている人はマスクを着用しましょう。また、家庭や職場でマスクをせずにせきをしている人がいたら、マスクの着用をすすめましょう。
- ※感染した人がせきやくしゃみするとき手で押さえた後や鼻水を手でぬぐった後に、他のもの(机、ドアノブ、つり革、スイッチなど)に触ると、ウイルスがつくことがあります。そのウイルスに感染していない人が触れた後で目、鼻、口に再び触れると、粘膜・結膜などを通じて感染することがあります。



がん複合検診

胃がん 大腸がん 超音波検査 子宮がん 乳がん 骨粗しょう症検診

各種がん検診と骨粗しょう症検診を実施します。2月に合志市検診申込み票で申し込みをした人には、**8月下旬に問診票を送付します**。まだ申し込みをしていない人は、各庁舎・各支所で申込み票を記載してください。(9月から10月までの19日間実施します)

がんの早期発見・早期治療を

がんは、自覚症状が出にくい病気です。また、症状があっても見逃すことがあります。しかし診断と治療の進歩により、一部のがんでは早期発見・早期治療が可能となってきました。特に、無症状のうちに「がん」を早期発見し治療することが大切です。日常生活の中で注意するとともに、早期発見のために年に1回は検診を受けましょう。

日常生活の注意

がん複合検診

早期発見 早期治療



	検診名	内容	対象年齢	自己負担金(検診当日の満年齢)	
				69歳以下	70歳以上
各種がん検診	胃がん検診	胃X線撮影	30歳から	1,300円	500円
	大腸がん検診	便潜血検査	30歳から	500円	200円
	腹部超音波検診	超音波検査	30歳から	1,000円	1,000円
	骨粗しょう症検診	前腕部の骨密度測定	40歳から	1,000円	300円
	乳がん検診	マンモグラフィ+超音波検査	40歳から	1,600円	500円
			30歳から	1,000円	300円
子宮がん検診	細胞診	30歳から	1,000円	300円	
オプション	甲状腺超音波検診	超音波検査 乳がん検診とセットです 甲状腺単独の検診はできません	30歳から	1,000円	1,000円